

インフルエンザ(2026 年第 37 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 37 週の定点当たり報告数は 5.54(患者報告数 20,697)となり、前週の定点当たり報告数 3.29 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(16.61)、茨城県(9.85)、東京都(9.53)、神奈川県(9.45)、新潟県(9.44)、埼玉県(9.10)、千葉県(8.63)、山口県(8.03)、富山県(7.67)、愛知県(6.58)、宮城県(5.35)、長野県(5.30)の順となった。全国 47 都道府県中、44 都道府県では前週の報告数よりも増加し、2 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 478 例であり、前週(284 例)から増加した。43 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(16 例)、1～4 歳(58 例)、5～9 歳(87 例)、10 代(38 例)、20 代(7 例)、30 代(9 例)、40 代(11 例)、50 代(21 例)、60 代(40 例)、70 代(67 例)、80 歳以上(124 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 33 週～2026 年第 37 週)では、AH1pdm09 が 61 件(97%)、AH3 亜型が 2 件(3%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。